

# 窓

## 【今年度の重点】

- 目標に向けてねばり強く取り組み、学ぶ価値を実感できる
- 基礎的な知識や技能を身につけ、調整力を発揮して活用できる
- 見通しを持って学び、考えを伝え合うことができる

## マスク着用から考える ～ 自己指導能力 No. 13 2022. 6. 3

先日、厚生労働省から「マスク着用の考え方及び就学前児の取扱いについて」が公表されました。リーフレット「子どものマスク着用について」とともに、学校からもマスク着用に関わりお知らせしたところです。マスクを着用する生活となってから2年数ヶ月が経とうとしています。感染予防には非常に有効だと分かりながらも、一方ではマスクの煩わしさも感じているのは私だけではないと思います。今回の取扱いでは、これから暑い時期を迎えるに当たってマスク着用が不要な場合を示したものです。マスクの着脱の推奨が場面に応じて示されています。

「自己指導能力」という言葉があります。これは「その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて実行する能力」であり、「適切な行動」とは「自分のためにもなり、他の人のためにもなる行動」と捉えることができます。マスクの着脱についても、なぜこのような取扱いが必要なのかを考えると、自ずとどのような行動をとることが望ましいのかという判断もでき適切な行動につながります。

マスク着脱に限らず、子どもたちが社会に出た時に、「その場その場で適切な行動がとれる」よう、学校でも指導をしていかなければならないと改めて感じています。

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注)	屋外	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する 事例③	着用の必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。

※お年寄りや会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

### 事例①

- ・ランニングなど離れて行う運動
- ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

### 事例②

- ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

### 事例③

- ・通勤電車の中

## 2. 小学校就学前の児童のマスク着用について

- 2歳未満(乳幼児)は、引き続き、マスク着用は奨めない。